

# The CC-Link Times

The Extra Issue

Wednesday, June 28, 2006 Published by CLPA.



## CC-Link 日本発 ISO国際標準に! 名実ともにグローバルスタンダードへ!

International Standards Body Recognizes CC-Link Technology and Approves It as ISO15745-5!

日本発&初のオープンフィールドネットワークとして誕生以来、はや五年。昨今アジアで急速に採用が広がっているCC-Linkが、経済産業省ならびに財団法人製造科学技術センターの支援を受け、各国ISO委員の100%賛同を得て、ISO国際標準 (ISO15745-5)<sup>\*1</sup>として承認された。今回の

CC-Link国際標準化により日本のデファクトスタンダードから、ついに名実ともにグローバルスタンダードとして世界に認められたCC-Link。今後ますますグローバルな普及・採用拡大が期待される。

\*1:CC-Linkは「オープンシステムアプリケーション統合フレームワークパート5:HDLCベース制御システム参照記述」

■規格番号:ISO15745-5 ■名称:産業オートメーションシステムと統合オープンシステムアプリケーションフレームワーク 第5部HDLC (ハイレベルデータリンク制御手順) 準拠制御システム



その高い技術水準や  
使いやすさで国際的に  
認められた、CC-Link。

FAネットワークの国際標準には、大きく2種類ある。一つは、ネットワークプロトコル (機器間でやりとりするデータの手順とフォーマット) 仕様に関する標準であり、もう一つは、FAネットワークに接続される機器の仕様 (製造メーカ、サポートする点数、CC-Linkの場合には対応するバージョン番号など) に関する標準だ。今回CC-LinkがISO国際標準として承認されたISO 15745は後者の機器の仕様に関する標準に相当し、FA用アプリケーション構築の観点から各デバイスに必要な仕様を統一的手法で記述するためのルールを定めている。つまり、従来からオープンネットワークに強く求められていた通信の互換性、接続製品の豊富さだけでなく、システムやアプリケー

ション構築の際に生産効率が飛躍的に向上するオープンネットワークとして、CC-Linkはその高い技術水準や使いやすさが国際的に認められたのだ。世界各地域でシステム設計者やユーザの利便性向上に大きく貢献するCC-Link、それはFAだけでなく、PA (Process Automation)やBA (Building Automation)と用途は限らない。また、今回CC-Link協会がユーザ・ベンダー・コンソーシアムとしてISO (国際標準化機構) に単独で提案できる組織として認められたCC-Link提案であり、かつISO国際標準化承認である。これは日本初の業績であり、世界各地域でCC-Linkの標準フィールドネットワーク化、ユーザ・ベンダー・パートナー拡大をめざすなかで大きな弾みとなるに違いない。

日本のデファクトスタンダードから、グローバルスタンダードへ!!

ISO国際標準化規格  
ISO15745-5

2006年4月 ISO承認

CC-Link協会が日本初ユーザ・ベンダー・コンソーシアムとしてISO (国際標準化機構) に提案。

中国国家規格  
GB/Z19760-2005  
2005年5月規格取得

半導体・FPD業界の国際スタンダード  
SEMI E54.12  
2001年5月認定取得!

IEC国際標準規格、韓国「KS」規格など取得活動推進中!!



New CC-Link Products

# CC-Link対応製品の最新成果、つぎつぎに!

環境にやさしく、CC-Link専用通信LSIが新ラインアップへ!

三菱電機株式会社

CC-Link専用通信LSI [MFP1N, MFP2N, MFP2AN, MFP3N]

- 環境問題への対応の一環として、CC-Link専用通信LSIのRoHS対応化を実現しました。
  - すべてのプロトコルをLSIに内蔵し、わかりやすいマニュアルも提供。CC-Link対応製品の開発が容易です。
  - MFP1Nには、開発をより容易にするファームウェア(オブジェクト)も用意。開発期間の短縮が図れます。
  - 技術サポートは、専門のオープンシステムセンターが電話・メールにて対応します。(月～金 9:00～17:00)
- ※従来品(MFP1、MFP2、MFP2A、MFP3)は生産中止とさせていただきます。



RoHS対応

CC-Linkインバータを内蔵。装置の高機能化、省配線を実現。

三菱電機FA産業機器株式会社

インバータギヤードモータGNシリーズ

- パラメータ設定なしで6～60Hzの定トルク運転が可能です。(定トルクモータ仕様)
- CC-Link通信で、簡単かつ多台数制御が可能です。
- 電源ケーブルとCC-Link通信ケーブルはマルチドロップ接続が可能で、省配線を実現できます。
- インバータを内蔵し、モータとインバータの配線および制御盤が不要です。
- 全閉形インバータで、屋外形も対応可能です。



Exhibition Schedule

## 展示会出展も目白押し! 今年も見逃せないCLPAブース!

CLPAは今年も各種展示会に積極的に出展し、CC-Linkを活用したコスト低減(省配線)と製品選択肢の拡大・向上を提案する予定だ。ちなみに6月、7月の出展展示会は以下の通り。豊富なCC-Link対応製品はもちろん、グローバル化に向けた取り組み、安全分野への取り組み(CC-Link Safety)についてなど、最新情報を発信していく。ぜひ足を運んで見たい。

組込みシステム開発技術展(ESEC)

- 開催日時:2006年6月28日～30日
- 場所:東京ビックサイト

組込みシステム開発に必要なハードウェア・ソフトウェア・コンポーネントから開発環境までが一堂に集結する「組込みシステム開発技術展(ESEC)」。

初出展となるCLPAブースでは「マイコン分野でのCC-Link活用」をテーマに、近年増えつつあるPCIボード等を活用したマイコン分野での適用事例について紹介する。



オープンネットワークオートメーション展(ONA)

- 開催日時:2006年7月12日～13日
- 場所:科学技術館[東京北の丸公園]

社団法人東京都設備設計事務所協会が主催する「オープンネットワークオートメーション展(ONA)」は、ビルオートメーション(BA)分野でのオープンネットワーク技術に焦点を当てた展示会である。今回2度目の出展となるCLPAでは、ビル分野での活用可能なCC-Link対応製品や事例等を紹介する予定である。



Semicon-West

- 開催日時:2006年7月10～14日
- 場所:Moscone Convention Center(サンフランシスコ)

半導体装置・機器に関する北米最大の展示会であるSemicon-Westに、今年もLPA-North Americaが出展。半導体分野でのCC-Link活用や安全への取り組み等を紹介する。



CLPA Schedule

\*8月・9月は仮日程です。

7月

- 10～14日:SEMICON-west出展(北米支部)
- 12～13日:オープンネットワークオートメーション展(ONA)出展
- 27日:製品情報誌 IPG8月号に記事と広告を掲載

8月

- 24日:第21回CLPAテクニカル/マーケティング部会
- 29日:第25回CLPA幹事会

9月

- 21日:CC-Link基礎セミナー

CLPA Statistics

2006年5月末現在

■CLPAパートナー会員数

758 社

■CC-Link対応製品数

747 機種



【編集・発行】〒462-0825 名古屋市北区大曾根町3-15-53 明治安田生命大曾根ビル6F [CC-Link協会]

TEL (052) 919-1588

e-mail cc-link@post0.mind.ne.jp

FAX (052) 916-8655

URL http://www.cc-link.org

[ 幹 事 会 社 ]

IDEC株式会社、ウッドヘッドジャパン株式会社、株式会社デジタル、日本電気株式会社、三菱電機株式会社